

# 必要病床数の推計方法及び前提等

- 本推計値は、6月15日に政府が公表した病床数推計について県内二次医療圏ごとに表したものの。  
報告書：医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告  
(医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会)

- 同報告の本県の推計値は以下のとおり。

- ・沖縄県の病床数

2013年現在	14,600床
2025年推計	15,300床
差	700床

- 推計値は全国一律の一定の前提のもと、地域医療構想ガイドラインで示された計算方法で計算した参考値としての位置づけ。
- 地域医療構想は、県、医療を提供する者、医療を受ける者が地域の医療資源の現状や、将来の医療需要の変化等についての情報を共有し、地域の医療提供体制の将来のあるべき姿について策定するもの。
- 地域医療構想策定にあたっては二次医療圏ごとに、医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、病院団体、医療保険者、市町村などを構成員とする「地域医療構想検討会議」を設置し構想の検討を行っていく。
- 病床推計ツールで算出された病床推計値が機械的に地域医療構想にあてはめられるものではなく、今後、各種データを収集、分析し、関係者の意見等を聴取し、地域の実情を踏まえ、地域における医療提供体制のあり方、必要病床数の推計を行っていく。

# 沖縄県の医療機能別必要病床数の推計について

## 1. 沖縄県の高齢者人口と必要病床数の推計値

本県は、高齢者人口が増加を続けるため、それに伴い医療需要も増加すると推計。

- ・65歳以上人口 2013年:254千人→2025年:353千人 39%増  
2013年:254千人→2040年:415千人 64%増

## 2. 沖縄県の現状の病床数と2025年の推計値

本県は既存の病床数と比較すると、2025年に向けて病床が不足すると推計。

- \* 政府発表によると、不足すると推計された県は、沖縄県も含め6都道府県。  
(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、大阪府、沖縄県)

## 3. 沖縄県の現状の病床数と医療需要

2013年の必要病床数(医療需要実績を病床稼働率で割り戻し算出した数)より、病床機能報告にて医療機関から報告された病床数(許可病床ベース)は少ない状況。

2013年の必要病床数と、病床機能報告制度による機能別の病床数は回復期において差が大。

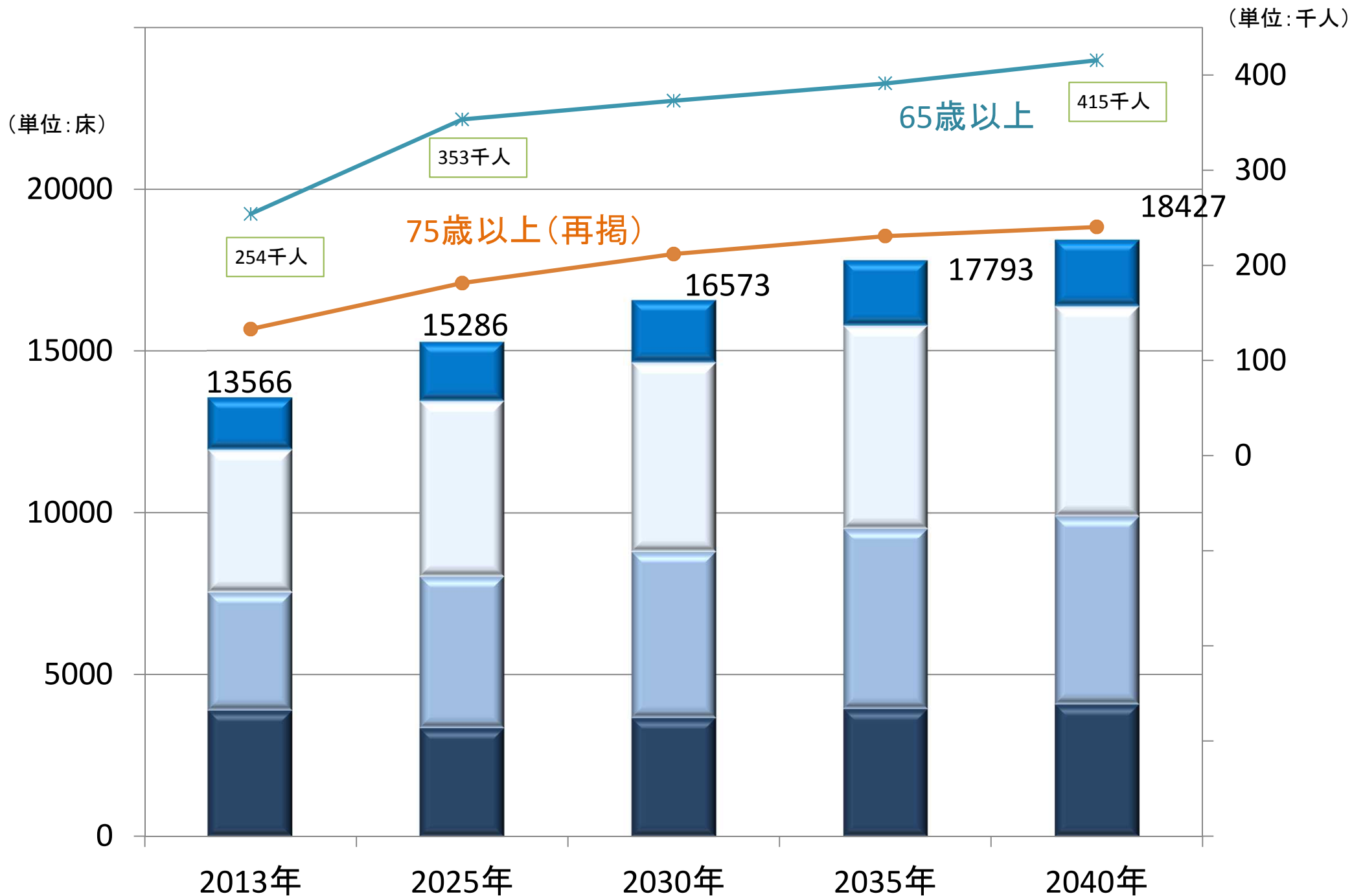
## 4. 2025年の医療機能別必要病床数推計(医療機関所在地ベース)

2013年医療施設調査(一般病床と療養病床)と2025年の必要病床数推計値を圏域ごとに比較すると、北部、宮古、八重山が過剰、中部、南部で不足。

## 5. 2025年の医療機能別必要病床数推計(医療機関所在地ベースと患者住所地ベース比較)

2025年の医療需要推計について、医療機関所在地ベース及び患者住所地ベースで圏域別に比較すると、北部、中部、宮古、八重山は圏外への流出があり、南部は圏外からの流入が発生している。

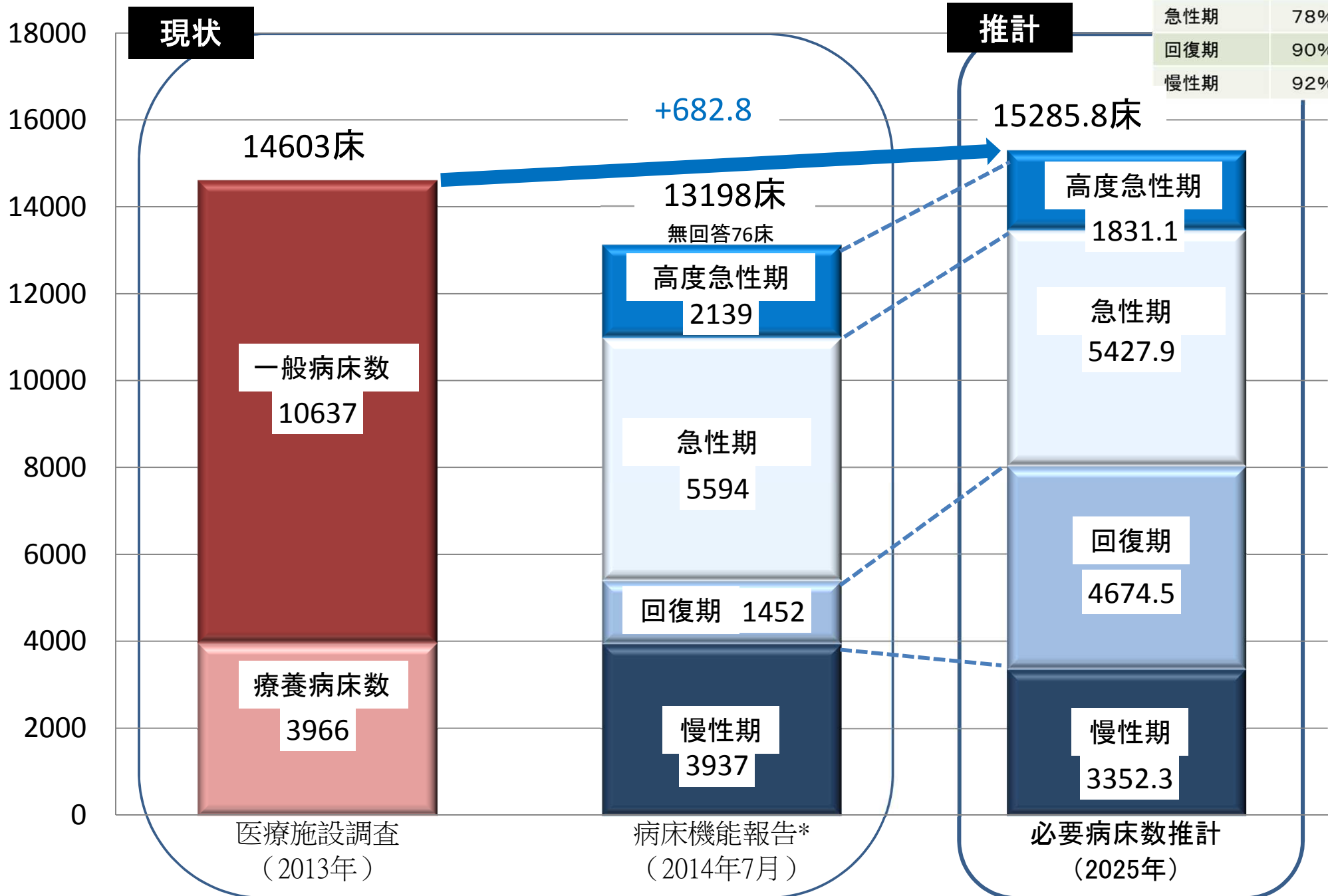
# 1. 沖縄県の高齢者人口と必要病床数の推計値



(医療需要実績)

## 2. 沖縄県の現状の病床数と2025年の推計値

病床稼働率	
高度急性期	75%
急性期	78%
回復期	90%
慢性期	92%



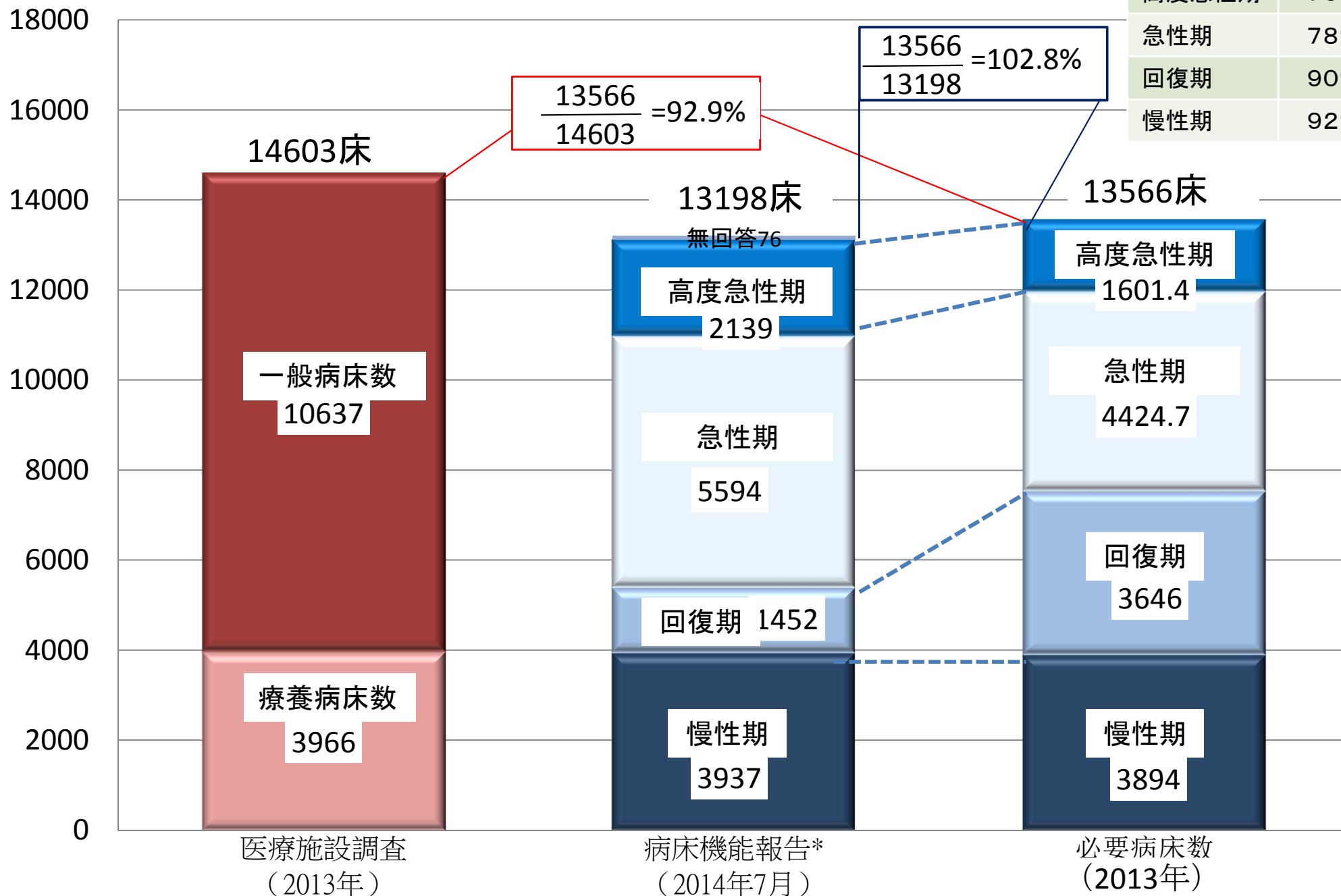
\* 未報告等があり現状の病床数とは一致しない。数値は許可病床数

今回の病床機能報告は、各医療機関が定性的な基準を参考に医療機能を選択したものであり、今回の推計における機能区分の考え方によるものではない。

※北部・宮古圏域がパターンC  
それ以外はパターンBの推計

### 3. 沖縄県の現状の病床数と医療需要

病床稼働率	
高度急性期	75%
急性期	78%
回復期	90%
慢性期	92%

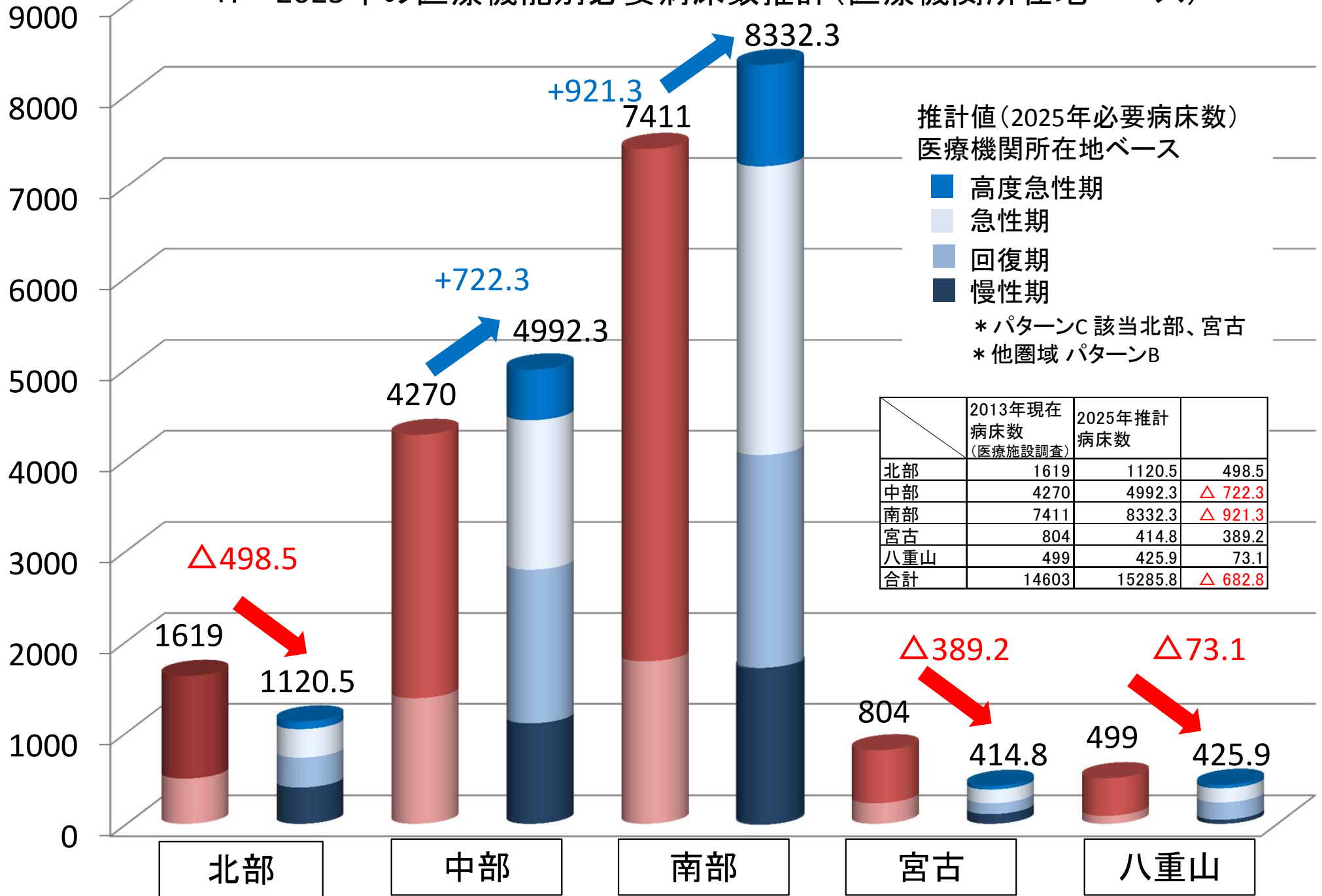


\* 未報告等があり現状の病床数とは一致しない。数値は許可病床数。

今回の病床機能報告は、各医療機関が定性的な基準を参考に医療機能を選択したものであり、今回の推計における機能区分の考え方によるものではない。

※2013年度の医療需要実績から病床稼働率を基に割り戻した数

#### 4. 2025年の医療機能別必要病床数推計(医療機関所在地ベース)



## 5. 2025年の医療機能別必要病床数推計

(医療機関所在地ベースと患者住所地ベース比較)

